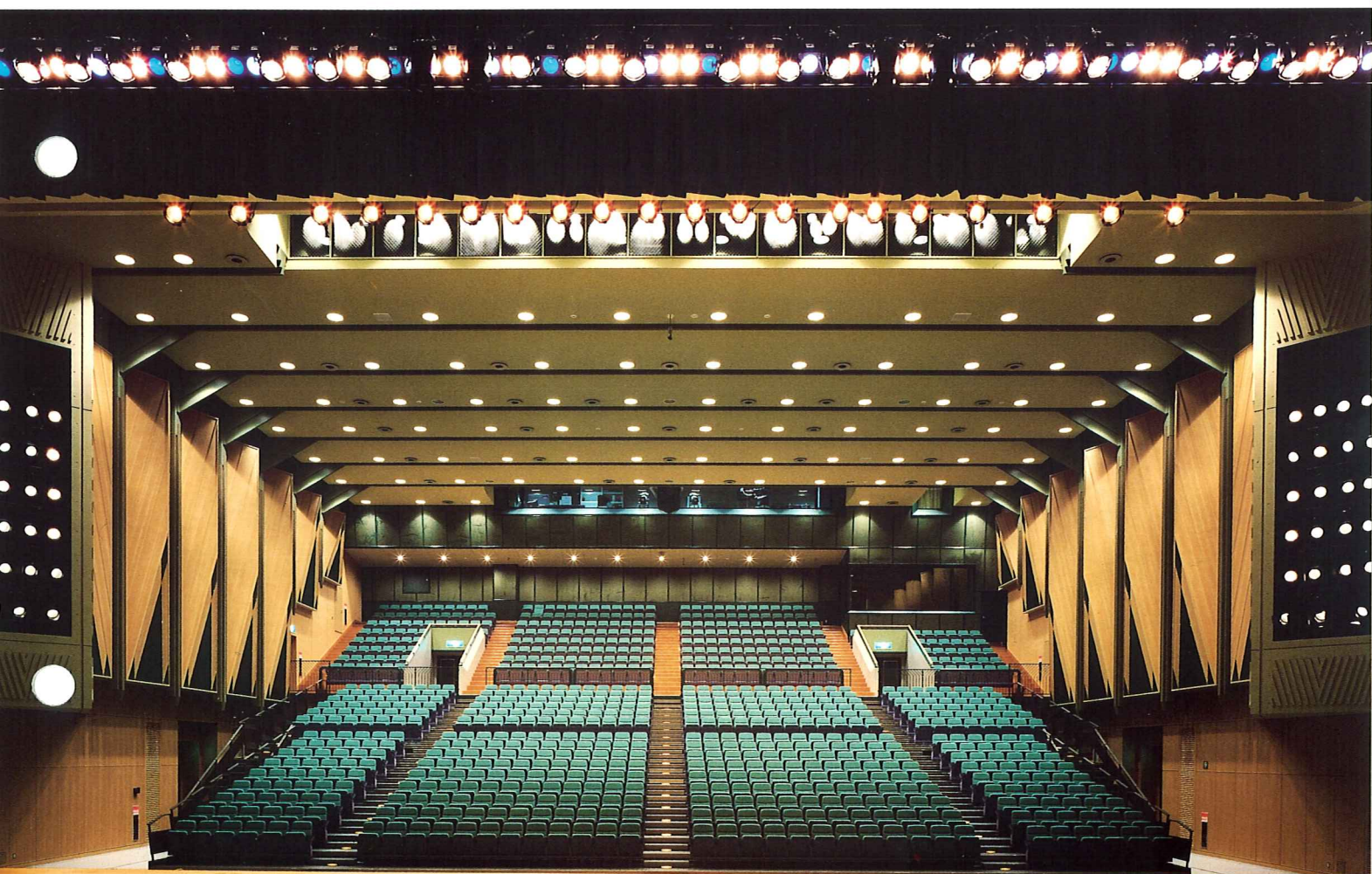


舞台照明設備

MARUMO

あけぼの だて歴史の柱カルチャーセンター

伊達市松ヶ枝町34番地の1 設計監理=山下・道開コン・管特別共同企業体
大ホール・収容人員=1044名 舞台間口=18.0m 奥行=14.0m 高さ=8.5m 設備容量=3φ4W300kVA
講堂(兼小ホール)・収容人員=350名 面積=315.5m²



大ホール舞台と観客席

No. **200**



カルチャーセンター全景



歴史の重みから学び、新たな文化の創造に向かって整備が進む「だて歴史の杜」。 21世紀に向けての新たな夜明けを象徴する待望のホール「あけぼの」誕生。

洞爺湖の南、内浦湾に面し、「北の湘南」とも呼ばれるほど北海道でも気候温暖な地として知られる伊達市。

今日に至る伊達市の発展の歴史をたどると、明治維新にその重要な源をみることができます。戊申戦争に敗れ、朝敵として所領を削減された仙台藩では、一門の筆頭、亘理領主伊達邦成によって蝦夷地開拓に一族の命運をかけることになり、藩主を頂点にした武士団が家族ぐるみでこの地に移住し、苦難の開拓の末に伊達市の発展の礎を築いていくことになります。

武士とその家族による異郷の地の開拓は、困難極まるものだったと想像されますが、そこでは西洋農具の積極的な導入、新しい農具実習のために今日の農協にあたる組織を結成するなど、新天地創造をめざしての革新的で意欲的な試みも数多くおこなわれていました。水稻耕作、農耕馬や乳牛の飼養など、ここで取り組まれた北海道農業の先駆をなすともいえるさまざまな試みの成果は、あたかもこの地が一大農事試験場としての役割を果たしたといわれるほど貴重なものがあります。

仙台藩から移住してきた士族団によって築かれた歴史と文化の一端は、現在でも8月におこなわれる騎馬武者行列をメインとした伊達武者まつりなどにもうかがえ、また開拓当時の民俗文化財や、伊達邦成の日記、伊達家家宝の鎧、太刀などの武具から美術工芸品まで数多く展示された伊達市開拓資料館では、開拓の歴史や、それを支えた精神を知ることができます。

こうした歴史と文化を改めて認識し、将来へ向かってその精神

を受け継いでいくために、整備されているのが総合公園の「だて歴史の杜」です。

「だて歴史の杜」は約17.7ヘクタールという広大な敷地を擁し、文化ゾーン、歴史ゾーン、産業ゾーンなど六つのゾーンの整備が進められており、なかでも文化ゾーンの中心施設としての役割を担って誕生したのがカルチャーセンター「あけぼの」です。このカルチャーセンターの完成は、これまで本格的なステージを備えた施設がなく、コンサートや演劇公演などの優れた舞台芸術を整った環境で市民に提供することができなかったこの地にとって、まさに待望の施設の誕生として市民に歓迎されています。公募によって名付けられた「あけぼの」の愛称には、そうした喜びと、21世紀に向けての伊達市の新たな夜明けの意味が込められているのです。

宮城県仙台市の青葉城の大手門をモデルに建築された「だて歴史の杜」の総合入り口でもある大手門や、その両側の石垣擁壁など、伊達市の歴史的背景を生かした周辺施設。そして、日本古来の和風様式のイメージを基調にししながら、歴史の重みと現代感覚を巧みに調和させたカルチャーセンターの大ホール。そうした建築デザインのコンセプトには、貴重な伝統、文化として、この地の歴史を後世に伝えたいという思いと、さらに新たな歴史を築いていこうという意欲があふれているようです。歴史から学び、更たる飛躍へ向かう伊達市。その新ホールの舞台に、MARUMOの明かりが輝きを添えていきます。

大ホール調光設備

サイリスター調光器盤 舞台用 3kW×134台 4kW× 46台 客席用 3kW× 3台 7.5kW× 4台 照明操作車(プリティナA型調光操作車) メモリーシーン……………500シーン マスターフェーダ……………1本 クロスフェーダ……………1組 グループフェーダ……………6本 スタックフェーダ……………10本 プリセットフェーダ……………80本×3段 フラッシュスイッチ……………80個 回路スイッチ……………80個	レベルインジケータ……………80個 チェイス操作/パネル……………1式 メモリー操作/パネル……………1式 3.5インチFDD……………1組 COMOSフロッピーディスク……………1式 14インチCRT(電子クロスバー装置)……………1式 客席調光スイッチ……………1式 作業灯スイッチ……………1式 舞台袖操作盤 マスターフェーダ……………1本 スタックフェーダ……………10本 客席調光スイッチ……………1式 作業灯スイッチ……………1式
--	--

⑩フロアーコンセント C型30A4口用(舞台前)……………2個 C型30A3口用(舞台後)……………2個 C型30A4口用(舞台袖)……………2個 C型30A3口用(舞台袖)……………8個 ⑪客席ウォールコンセント C型60A2口用……………2個 ⑬フロントサイドライト(上手・下手) コンセントダクト C型20Aコンセント9個 3回路 L=5.0m……………2列 CSQ型1000W……………18台 ⑭シーリングライト コンセントダクト C型20Aコンセント32個 16回路 L=16.0m……………1列 CMQ型1500W……………32台 ⑮センターピンスポットライト 2000Wクセノンピンスポットライト……………2台 *移動用スポットライト CSQ型500W……………10台 FQ型500W……………10台 CSQ型1000W……………16台 SPHIII型1000W……………15台 FP型500W……………6台 ITO型650W……………12台

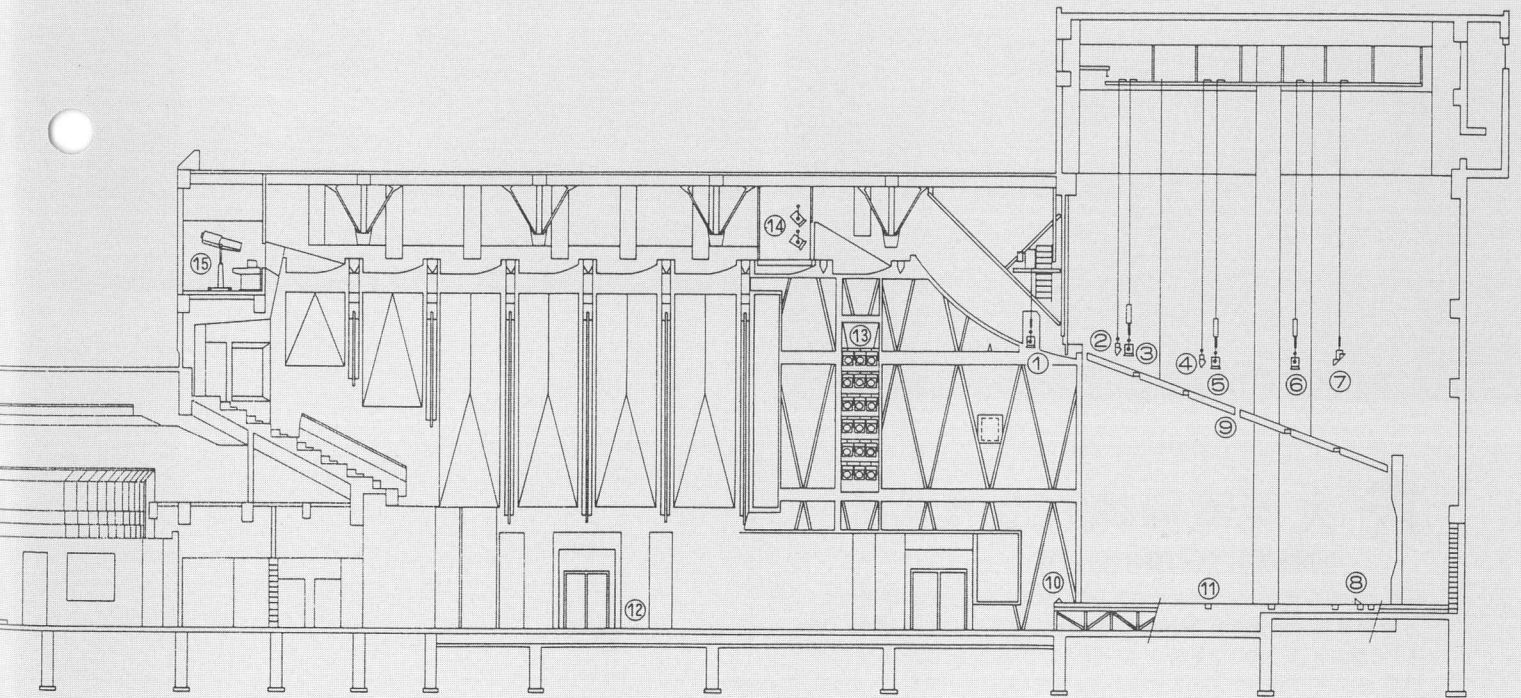
大ホール負荷設備

①プロセニウムサスペンションライト フライダクト C型20Aコンセント24個 12回路 L=18.0m……………1列 ②第1ボーダーライト 200W×81灯 4色配線 L=16.2m……………1列 C型20Aコンセント16個(切替スイッチ8個) ③第1サスペンションライト フライダクト C型20Aコンセント40個 20回路 L=18.0m……………1列 ④第2ボーダーライト 200W×81灯 4色配線 L=16.2m……………1列 C型20Aコンセント16個(切替スイッチ8個) ⑤第2サスペンションライト フライダクト C型20Aコンセント40個 20回路 L=18.0m……………1列	⑥第3サスペンションライト フライダクト C型20Aコンセント40個 20回路 L=18.0m……………1列 *サスペンションライト用スポットライト CSQ型1000W……………40台 FQII型1000W……………120台 ⑦アッパーホリゾンタルライト フライダクト C型20Aコンセント108個 6色配線 L=18.0m……………1列 500Wフラッドライト……………108台 ⑧ローアホリゾンタルライト 300W×80灯 4色配線 L=18.0m……………1列 ⑨天井反射板ライト 500Wダウンライト……………44台 ⑩フットライト 75W×96灯 4色配線 L=14.4m……………1列
---	---

講堂(兼小ホール)負荷設備

ウォールコンセント C型20A3口用(埋込型)……………6個 ボーダーライト BC型200W×45灯 3色配線 L=9.0m……………1列 サスペンションライト フライダクト C型20Aコンセント12個 6回路 L=9.0m……………1列 CSQ型500W……………4台 FQ型500W……………8台
--

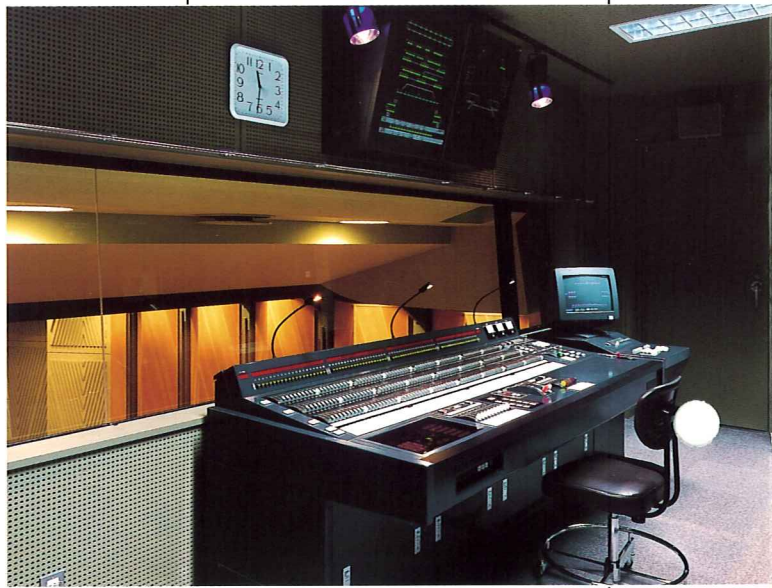
大ホール断面図



大ホール舞台上部



大ホール調光室



講堂兼小ホール



 **丸茂電機株式会社**
MARUMO ELECTRIC CO.,LTD.

本社・営業部：東京都千代田区神田須田町1-24 〒101 TEL(03)3252-0321
 大阪営業所：大阪市北区野崎町9-6(東梅田ビル) 〒530 TEL(06)312-1913
 名古屋営業所：名古屋市中区栄4-1-1(中日ビル) 〒460 TEL(052)263-7425
 福岡出張所：福岡市中央区大名1-14-45(福岡鴻池ビル) 〒810 TEL(092)741-4762
 広島出張所：広島市中区銀山町1-11(アジスカイビル) 〒730 TEL(082)249-6400
 札幌出張所：札幌市中央区南一条西7-12(都市ビル) 〒060 TEL(011)261-0321
 仙台出張所：仙台市青葉区本町1-13-24(平山ビル) 〒980 TEL(022)263-0221